

# まつど更女だより

第29号

2024(令和6)年3月31日発行  
編集・発行 / 松戸地区  
更生保護女性会  
発行責任者 / 太田麗子



会長 太田 麗子

## 『いつもの活動へ』

ようやくコロナウイルスが5類感染症となり、インフルエンザと同じ扱いになりましたが自分や人に対する感染防止の自己責任は重くなりました。

さて今年度はふれあい広場も再開し、久々の地域の方々との再会に喜び合い、話が弾みました。沖ノ永良部島の百合の球根、黒砂糖の人気は高くこの会場でも完売でした。

年に2回児童養護施設晴香園で花壇の植え替え作業に、今年は保護司会の方も参加してくださいました。子どもたちも楽しそうに苗を植えている姿にほのほのしました。

そして婦性会訪問とこたにがわ学園訪問では、施設の概要や最近の様子をお聞きし見学をさせて頂き、微力ながら自立に向けてのお手伝いをさせて頂いています。

私たちの母体である日本更生保護女性連盟が、令和5年2月に任意団体から一般社団法人に昇格し、県連盟も藤代よし子会長になりました。

今まで以上に、笑顔と愛で活動につなげたいと思います。HPもご覧下さい。

## ～部活動の紹介～

### 事業部



今年度の活動は、「カードケース」の製作をしました。このカードケースは浅草橋で和紙を購入し、牛乳パックを再利用して部員が心を込めて作ったものです。

### 研修部



少年院や刑務所などの施設見学や、地域の方と更生保護について勉強するミニ集会、保護観察所推薦の絵本の読み聞かせに取り組んでいます。

### 支援部



児童養護施設晴香園で春・秋に花壇の整備を行っています。

作業は会員の他に、園の職員の方々や子どもたちも参加して、交流の場にもなり楽しく行っています。

### 広報部



年1回、広報誌の発行に向けて、活動の様子を記録し、また多くの皆さんにお伝えるできるよう心掛け、編集作業に取り組んでいます。



## ご挨拶

松戸市福祉長寿部長 松本 篤人



令和5年8月より福祉長寿部長を拝命した松本です。どうぞよろしくお願いいたします。松戸地区更生保護女性会の皆様におかれましては、心ならずも過ちを犯した人の立ち直りの支援と犯罪のない社会づくりにご尽力いただき、改めてお礼申し上げます。

さて、コロナ禍にあった3年間余り、人々の活動は大幅に制限され更生保護女性会の皆様の活動にも多大な影響をもたらした事と存じますが、令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけられた以降は、完全な終息とはいかないものの徐々に街に人の波、そして賑わいが戻りつつあることは喜ばしい限りでございます。

しかしながら、少子高齢化や単身世帯の増加などコロナ禍以前からの社会変化やコロナ禍による生活様式の変化があいまって、これまで以上に人々との繋がり的重要性、特に身近な地域の果たす役割の重要性が増し、思いやりにあふれ互いに支えあう地域社会が求められていると認識しております。

ぜひ、更生保護女性会の皆様には引き続き地域に更生保護の心を広めていただき、安全安心なまちづくりにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

## 水戸市 水府学院と弘道館を見学

島倉 美賀

秋の気配が感じられる10月6日、水戸市の水府学院を訪問してきました。この学院は、16.5歳以上から20歳未満の男子92人



が入所しており、社会適用を円滑に進めるための基本的な生活訓練、問題行動指導、治療的指導などを重点とした矯正施設です。広大な敷地に体育館、プール、運動場等があり素晴らしい環境でした。人間的なふれあいや食育もしっかりされて、恵まれた健全な集団生活を送っているのだと感じました。訪ねた時にはちょうど行動訓練、環境整備、教科授業を行っていて、少年たちが熱心に取り組む姿には胸が熱くなりました。中庭にあった、乙女の像が「明日への願い」を象徴しているように、私も少年たちに「一日も早く退院してね」とエールを送りたいです。

学院近くの弘道館も見学し、松戸にゆかりの徳川家のお話も聞いて、大変和やかな雰囲気で見学してきました。



## 絵本の読み聞かせ

今年初めてのころみとして、日本更生保護協会が作成した、「おしえて! くもくん」を二十世紀が丘保育所の4、5歳児を対象に絵本の読み聞かせをしていただきました。

この絵本は、「プライベートゾーン」について、これまでなかなか触れられてこなかった内容で、「ふざけておしりを触ってはいけない」や「下着をつけて隠れているところは大事なところ」という子どもにも理解できる優しい表現がされています。

子どもたちはとても興味深く真剣に聞いていて、お話の後もふざけている子に、「おしりは触っちゃいけないんだよ」と注意している子や、帰宅後も話題にして家族で話をした、という保護者からの声も聞かれました。

先生方からは、「今回初めてこのような絵本を提供して頂き、私たちにとっても良い機会となりました。」という感想をいただきました。



「矢切子育て支援みんなといっしょ」でも行いました。





## 「新入会員研修会」

北原 和子

6月23日新入会員研修会が千葉生涯学習センターで行われました。

千葉県更生保護女性連盟の藤代会長より「社会の学びの場として活動してもらいたい」とあいさつがあり、岸保護観察所長、清水統括保護観察官より「更生保護女性会に期待すること」、「更生保護とは」などについて丁寧なお話をいただきました。

更生保護を身近に感じて欲しいという強い想いが感じられ、聴いたお話を忘れずに、これからの活動に活かしていきたいです。

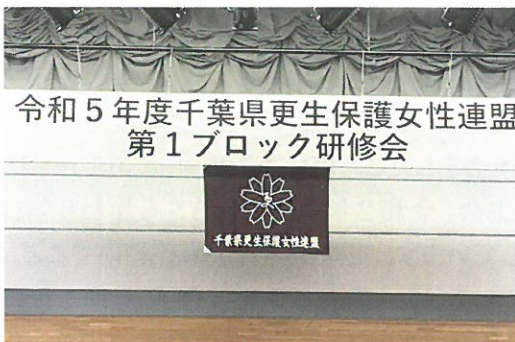


## ブロック研修会に参加して

友田 真由美

10月26日八千代市の八千代台東南公共センターにおいて、第二地区更女ブロック研修会がありました。開催地である八千代市長や千葉観察所の清水観察官が出席され、千葉県更女会長のご挨拶がありました。その後、各ブロックに分かれ“更女会員の獲得”、“事業の運営についての課題”などのテーマについて熱心に話し合いました。各地区の取り組みを聞きとても勉強になりました。八千代市は、道の駅を利用してのバザーなどを通じ、更女と市民が触れ合う場所となっています。本当にいろいろ参考になり、活気ある研修会でした。また、八千代更女会からハンカチで作った素敵な巾着袋をいただきました。

令和5年度千葉県更生保護女性連盟  
第1ブロック研修会



## ふれあい広場

今年も各地区社会福祉協議会主催の、ふれあい広場に出展させていただき、黒糖・ゆりの球根の販売やフリーマーケットを行いながら、更生保護女性会のPRを行いました。

黒糖とゆりの球根は毎年大盛況で、早々に完売しました。



小金地区ふれあい広場



矢切地区ふれあい広場



一つの株からこんなに花が咲きました。



## 表彰おめでとうございます

### 第66回 千葉県更生保護大会

令和5年11月16日(木)：千葉県南総文化ホール

#### 第66回 千葉県更生保護大会



◇ 千葉県更生保護女性会感謝状  
伊藤 奈美子様  
◇ 千葉県更生保護女性連盟会長表彰  
高橋 貴美子様

※聖徳大学BBSが、今年度から正式に部活動として認められ、さらに活動の幅を広げていることなどが高く評価され、千葉県更生保護女性会から感謝状が送られました。  
(BBSとはBig Brothers and Sisters Movementの略です)



#### 第41回 松戸市福祉大会表彰者

2月4日に行われました松戸市福祉大会で、木田たみ子さんが、特別功労賞を受賞されました。

## 更生保護関連団体交流会



2月2日ゆうまつどにて、松戸地区保護司会、松戸地区協力雇用主会、聖徳大学BBSそして松戸地区更生保護女性会の4団体の代表が集まり、意見交換を行いました。

この会は、平成15年から保護司会と更生保護女性会が意見交換会をしたことが始まりで、平成30年からは協力雇用主会、令和2年からはBBSも加わり年に1回開催しています。犯罪や非行を未然に防ぐこと、罪を犯してしまった人の自立の支援など、それぞれの立場で同じ目的を持った人たちの団体です。これからも力を合わせ明るい社会を目指そうと、共通認識をした会でした。

## 更生保護女性会とは

更生保護女性会とは、更生保護施設へのサポート活動、子育て支援活動など、幅広い活動を展開し、犯罪や非行の防止と罪を犯した人の立ち直りを支援するボランティア団体です。

全国に、約15万人の会員がおり、千葉県内には、37地区会が組織され、約2,400人の会員が活動しています。

## 更生保護女性会のなりたち

更生保護女性会のルーツは、明治16年に大阪のひとりの女性が、いくあてのない子どもたちを自宅に預かり、母親のように養ったことがきっかけと言われています。その後、非行のある子どもたちに母性と慈しみをもって救おうと、全国各地で団体が結成され、更生保護女性会は70年以上にわたり活動を続けています。



## 「会員募集」



松戸市更生保護女性会では、会員を随時募集しています。更生保護に興味のある方、更生施設の見学をしてみたい方、ボランティア活動してみたい方など、一度お電話ください。

◇ 松戸市福祉政策課地域福祉担当室（事務局）  
047-366-3019

松戸地区更生保護女性会

検索

## 新入会員の紹介



友田 真由美



北原 和子